

宮崎県の農林水産業の概要

特徴・取組

宮崎県は、九州の東部に位置し、山岳地帯が多く、平地は宮崎平野と西諸県（にしもろかた）・北諸県（きたもろかた）盆地を有する程度で、総面積7,735km²のうち森林が76%で、農地は9%となっている。農地は概して火山性特殊土壌で覆われている。

海岸線は総延長398kmで、北部と南部で一部屈曲に富んでいるが、中部は平坦な砂丘地帯である。

「日本のひなた宮崎県」に象徴されるように、日照時間や快晴日数は全国トップクラスで平均気温が高く温暖な気候に恵まれている。

一方、大消費地から遠隔地にあるなど、不利な条件はあるが、東九州自動車道や都城志布志道路など、高速道路をはじめとする道路網や、国際化に対応した空港・港湾の整備など、交通・物流の基盤整備が進んでいる。

産業構造は、県内総生産（平成30年度：3兆7,402億円）を産業別にみると、第1次産業が2,001億円（5.3%）、第2次産業が9,501億円（25.4%）、第3次産業が2兆5,646億円（68.6%）となっている。

農業は、畜産や施設園芸といった土地集約型の経営品目が主力で、収益性の高い農業を展開し、農業産出額は3,000億円半ばで推移（全国第5位）。品目別には肉用牛、豚、ブロイラー、きゅうり、ピーマン、スイートピー、マンゴー等が全国トップクラスの生産量を誇っている。

林業は、全国に先駆けてスギを中心とする人工林資源が利用期を迎え、路網の整備や高性能林業機械の導入、木材の加工・流通体制の整備に取り組んだ結果、全国有数の国産材供給基地となっている。

漁業は、北上する黒潮と、南下する沿岸水により複雑な海況となっており、沿岸はイワシ、アジ、サバ等の好漁場となり、沖合にはカツオ、マグロの漁場が形成されている。

輸出では、海外のニーズや規制等に対応できる生産体制の強化として、海外の残留農薬基準や飼育規制をクリアしたグローバル産地の育成や、国際水準の食肉処理施設等輸出拠点施設のフル活用で生産体制の強化に取り組んでいる。

また、世界の食市場で稼ぐため、グローバル産地の拡大、輸出パートナーや宮崎県香港事務所と連携した販促展開及び新たな需要が見込まれる中華圏、EU等の販路拡大を強化している。

主な農林水産物

肉用牛



「全国和牛能力共進会」において「宮崎牛」は史上初の内閣総理大臣賞を3大会連続で受賞。平成29年12月にGI登録。大相撲の優勝力士には、宮崎県知事賞として宮崎牛1頭分が毎場所贈呈されている。（飼養頭数全国3位）

豚



新たな県産豚肉のブランド確立にむけ、高品質で特徴ある豚肉生産を推進。（飼養頭数全国2位）

ピーマン



児湯（こゆ）、中部地区は冬春期を中心に全国有数の産地。ビタミンCの含量が高く、「みやざきビタミンピーマン」として健康に着目した販売にも取り組む。（収穫量全国2位）

きゅうり



鮮度抜群の「ワンタッチきゅうり」など、高い生産技術により年間を通じ高品質で安定した量を出荷する一大産地。（収穫量全国1位）

スギ



森林資源の充実や全国トップクラスの生産基盤を背景に、スギ素材（丸太）生産量は、平成3年以降連続して日本一を誇る。

ブロイラー



年間1億羽以上を出荷し、多くの関連産業や雇用面から、地域経済を支える基幹品目。（飼養羽数全国1位）

マンゴー



完熟にこだわり、樹上熟成し自然落果したものだけを集荷。県ブランド「太陽のタマゴ」は全国的に高い認知度を誇る。（収穫量全国2位）

きんかん



完熟きんかん「たまたま」は、大玉で糖度16度以上と甘く、生のままおいしく食べられる。（収穫量全国1位）

かつお類・まぐろ類



近海かつお一本釣りによる漁獲量は、平成6年から連続で全国一で、令和2年度日本農業遺産に認定される。まぐろ延縄漁業も沿岸で1位、近海で3位と全国上位の漁獲量を誇る。

うなぎ（養殖）



児湯、中部地区を中心に、天然種苗に恵まれ、豊富な水資源と温暖な気候を活かした養殖が盛ん。近年のシラスウナギの不漁を受け、資源管理を積極的に実施。（収穫量全国3位）

宮崎県内の各地域における農林水産物

西臼杵地区

【農畜産物】 水稲、トマト、きゅうり、ほうれんそう、ピーマン、くり、きんかん、ゆず、ホオズキ、ランタンキュラス、茶、葉たばこ、肉用牛、ブロイラー
 【林産物】 スギ、乾しいたけ
 【水産物】 やまめ

東臼杵地区

【農畜産物】 水稲、トマト、たまねぎ、ほうれんそう、きんかん、くり、平兵衛酢(へべす)、かき、スイートピー、しきみ(切り枝)、ブロイラー、肉用牛、豚
 【林産物】 スギ、乾しいたけ、木炭
 【水産物】 いわし類、さば類、まぐろ類、ぶり類、まかじき、まあじ、あゆ、うなぎ、チョウザメ

西諸県(にしもろかた)地区

【農畜産物】 水稲、メロン、ごぼう、さといも、ほうれんそう、ピーマン、日本なし、ぶどう、くり、マンゴー、輪ぎく、鉢苗物、葉たばこ、肉用牛、ブロイラー、豚、乳用牛
 【林産物】 スギ
 【水産物】 チョウザメ

児湯(こゆ)地区

【農畜産物】 水稲、ピーマン、きゅうり、トマト、ほうれんそう、にら、スイートコーン、にがうり、いちご、ズッキーニ、マンゴー、ぶどう、ゆず、スイートピー、ゆり、シンビジウム、茶、葉たばこ、ブロイラー、肉用牛、豚、鶏卵、乳用牛
 【林産物】 スギ
 【水産物】 まぐろ類、チョウザメ、こいうなぎ

北諸県(きたもろかた)地区

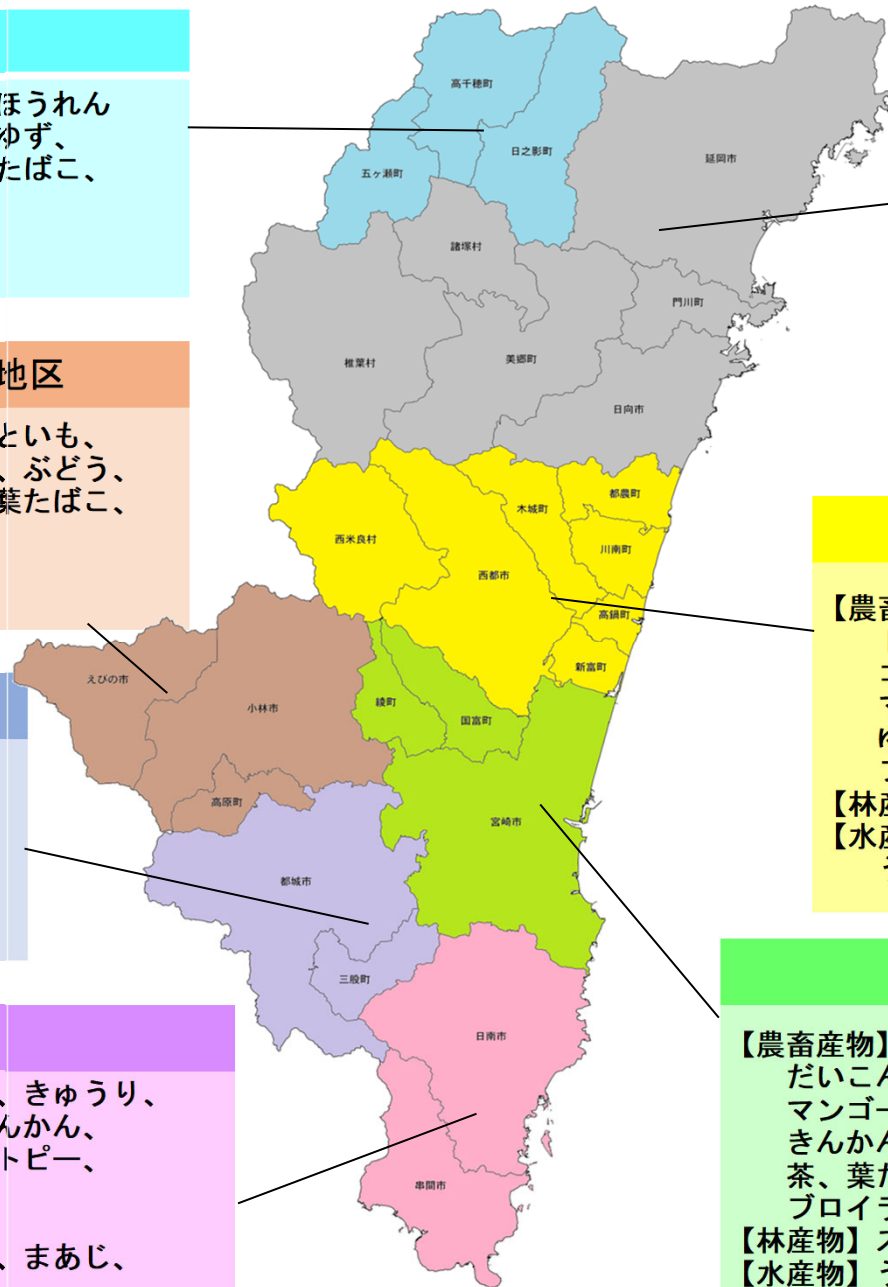
【農畜産物】 水稲、きゅうり、ごぼう、さといも、いちご、ほうれんそう、きんかん、茶、豚、肉用牛、ブロイラー、乳用牛、鶏卵
 【林産物】 スギ、生しいたけ
 【水産物】 こい

中部地区

【農畜産物】 水稲、きゅうり、ピーマン、だいこん、トマト、いちご、しょうが、マンゴー、日向夏、温州みかん、きんかん、輪ぎく、バラ、コチョウラン、茶、葉たばこ、肉用牛、豚、ブロイラー、鶏卵
 【林産物】 スギ、えのきたけ
 【水産物】 うなぎ、ちりめん、いせえび

南那珂地区

【農畜産物】 水稲、かんしょ、ピーマン、きゅうり、ごぼう、温州みかん、マンゴー、きんかん、ぽんかん、日向夏、不知火、スイートピー、豚、肉用牛、ブロイラー
 【林産物】 スギ
 【水産物】 かつお類、まぐろ類、ぶり類、まあじ、いせえび、チョウザメ



宮 崎 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は6万5,200haで、全国第20位。内訳は、田が3万4,900haで29位、畑が3万300haで15位となっている。
- ・農業経営体数は2万1,117経営体で、全国第23位。
- ・基幹的農業従事者数は3万1,570人で、全国第20位。

耕地面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
耕地面積	65,200 ha	4,372,000 ha	20
田	34,900 ha	2,379,000 ha	29
畑	30,300 ha	1,993,000 ha	15
普通畑	25,200 ha	1,130,000 ha	12
樹園地	4,030 ha	268,100 ha	19
牧草地	1,150 ha	595,100 ha	15
参考) 総土地面積	773,509 ha	37,797,561 ha	14

出典：「令和2年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
農業経営体数	21,117 経営体	1,075,705 経営体	23
法人経営体	758 経営体	30,707 経営体	11
総農家数	30,940 戸	1,747,079 戸	27
販売農家	20,304 戸	1,027,892 戸	23
参考) 世帯総数	462,858 世帯	53,448,685 世帯	34
集落営農数	104 集落営農	14,832 集落営農	35

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和2年2月1日現在)」

荒廃農地面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	2,818 ha	283,536 ha	34

出典：「令和元年の都道府県別の荒廃農地面積」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	31,570 人	1,363,038 人	20
男	18,404 人	822,144 人	21
女	13,166 人	540,894 人	17
65歳以上	19,533 人	948,621 人	23
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.9 %	69.6 %	-
認定農業者数	7,751 経営体	233,806 経営体	10
法人数	806 法人	26,080 法人	5
参考) 総人口数	1,104,069 人	127,094,745 人	36

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)

担い手への農地の集積状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	33,517 ha	2,508,560 ha	17
集積率	50.8 %	57.1 %	15

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和元年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和元年3月末の数値である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
(但し「2020年農林業センサス」は令和3年4月27日公表データを使用)

宮 崎 県 の 農 業 (2)

- ・ 農業産出額は3,396億円で、全国第5位。内訳は肉用牛が780億円、ブロイラーが687億円、野菜が661億円、豚が521億円。
- ・ 農畜産物の生産状況は、きゅうり、キンカン、ヒュウガナツが全国第1位、ピーマン、ズッキーニ、にがうり、マンゴー、豚、ブロイラーが2位、さといも、肉用牛が3位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産加工の年間販売金額が444億1,500万円で全国第4位。事業体数は620事業体。

農業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
農業産出額	3,396 億円	89,387 億円	5
米	172 億円	17,484 億円	32
麦類	0 億円	543 億円	30 *
雑穀	0 億円	110 億円	29
豆類	1 億円	773 億円	36
いも類	71 億円	2,007 億円	7
野菜	661 億円	21,515 億円	12
果実	123 億円	8,399 億円	17
花き	67 億円	3,264 億円	17
工芸農作物	44 億円	1,699 億円	7
その他作物	16 億円	718 億円	10 *
畜産	2,209 億円	32,344 億円	3
肉用牛	780 億円	7,482 億円	3
乳用牛	96 億円	9,353 億円	16
生乳	79 億円	7,629 億円	16
豚	521 億円	6,122 億円	2
鶏	810 億円	8,647 億円	2
鶏卵	89 億円	4,595 億円	21
ブロイラー	687 億円	3,510 億円	2 *
その他畜産物	3 億円	740 億円	20
加工農産物	30 億円	530 億円	6

出典：「令和元年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	宮 崎 県	全 国	全国順位	
きゅうり	収穫量	元	63,100 t	548,100 t	1
キンカン	収穫量	H30	2,608 t	3,742 t	1
ヒュウガナツ	収穫量	H30	3,389 t	6,344 t	1
ピーマン	収穫量	元	27,600 t	145,700 t	2
ズッキーニ	収穫量	H30	2,516 t	9,832 t	2 *
にがうり	収穫量	H30	2,276 t	18,077 t	2 *
マンゴー	収穫量	H30	1,165 t	3,452 t	2
豚	飼養頭数	H31	835,700 頭	9,156,000 頭	2
ブロイラー	出荷羽数	H31	136,597 千羽	695,335 千羽	2 *
さといも	収穫量	元	12,000 t	140,400 t	3
肉用牛	飼養頭数	R2	244,100 頭	2,555,000 頭	3
ごぼう	収穫量	元	10,700 t	136,800 t	4

出典：「野菜生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」、「畜産統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	44,415 百万円	946,841 百万円	4
	事業体数	620 事業体	32,400 事業体	26
農家民宿	総額	35 百万円	5,409 百万円	31 *
	経営体数	30 経営体	1,360 経営体	13 *
農家レストラン	総額	1,526 百万円	35,696 百万円	5 *
	事業体数	30 事業体	1,360 事業体	13 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

宮 崎 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は287億8,000万円で、全国第4位。内訳は、木材生産が231億5,000万円で80%を占めている。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が199万9,000m³で全国第2位。うち、すぎが185万4,000m³で1位となっている。
- ・ 製材工場数は139工場で、全国第8位。

林野面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林野面積	585,908 ha	24,770,166 ha	13
国有林	176,561 ha	7,153,338 ha	10
民有林	409,347 ha	17,616,828 ha	15
人工林面積	332,801 ha	10,203,842 ha	8

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)

林業経営体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,796 経営体	34,001 経営体	2
法人経営体	175 経営体	4,093 経営体	4

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林業産出額	287.8 億円	4,549.2 億円	4
木材生産	231.5 億円	2,294.0 億円	2
栽培きのご類生産	53.7 億円	2,170.2 億円	8

出典：「令和元年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,999 千m ³	21,883 千m ³	2
針葉樹	1,951 千m ³	19,876 千m ³	2
すぎ	1,854 千m ³	12,736 千m ³	1
ひのき	93 千m ³	2,966 千m ³	13
広葉樹	48 千m ³	2,007 千m ³	10
乾しいたけ	生産量 422 t	2,414 t	2
えのきたけ	生産量 5,646 t	128,974 t	3 *

出典：「令和元年木材統計」、「令和元年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
工場数	139 工場	4,382 工場	8
製材用素材の入荷があった工場数	139 工場	4,340 工場	8
国産材のみ	107 工場	3,358 工場	8
国産材と輸入材	16 工場	771 工場	21

出典：「令和元年木材統計」

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
(但し「2020年農林業センサス」は令和3年4月27日公表データを使用)

宮 崎 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は323億円で、全国第14位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業でまかじきが全国第1位、海面養殖業でまあじが2位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、漁家レストランの年間販売金額が13億1,600万円で全国第1位、水産加工は89億3,400万円で5位。

漁船隻数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,438 隻	132,201 隻	29
動力漁船	1,176 隻	69,920 隻	25

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	950 経営体	79,067 経営体	28
内水面漁業経営体数	76 経営体	4,772 経営体	17

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	2,202 人	151,701 人	24
男	2,107 人	134,186 人	24
女	95 人	17,515 人	26

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	323 億円	13,484 億円	14

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	113,168 t	4,143,433 t	11 *
海面漁業漁獲量	100,130 t	3,228,206 t	8
まかじき	582 t	1,960 t	1 *
海面養殖業収穫量	13,038 t	915,228 t	19 *
まあじ	120 t	839 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	3,643 t	52,875 t	6 *
内水面漁業漁獲量	39 t	21,767 t	25 *
うなぎ	3 t	66 t	7 *
内水面養殖業収穫量	3,604 t	31,108 t	3 *
うなぎ	3,070 t	17,071 t	3 *

出典：「令和元年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	8,934 百万円	175,132 百万円	5
	事業体数	20 事業体	1,500 事業体	22
水産物直売所	総額	667 百万円	36,489 百万円	19 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体	18 *
漁家レストラン	総額	1,316 百万円	11,822 百万円	1 *
	事業体数	10 事業体	420 事業体	11 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

宮崎県の農林水産業の話題等

世界農業遺産・日本農業遺産

世界農業遺産（平成27年度）

○高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム（高千穂郷・椎葉山地域）

険しく平地が少ない山間地において、針葉樹による木材生産と広葉樹を活用したしいたけ栽培、和牛や茶の生産、焼畑等多様な農業を組み合わせたシステム。森林と農林業の調和が図られ、生物多様性が保全されている他、五穀豊饒を願う神楽などの伝統文化も育んでいる。



仙人の棚田（椎葉村）

日本農業遺産（令和2年度）

○造船材を産出した飢肥林業と結びつく「日南かつお一本釣り漁業」（日南市）

約300年間続く伝統漁法のかつお一本釣り漁業が水産資源の保全につながる漁法であることや、かつては地域で生産される飢肥杉が漁船に使われるなど、漁業と林業を合わせたシステムであることが認められた。漁業者も整備に協力する飢肥杉の山々から栄養塩が流れ込む豊かな海で、かつおの餌を畜養するなど、現在においても林業と漁業が密接に関連している。



かつお一本釣り（日南市）

○宮崎の太陽と風が育む「干し野菜」と露地畑作の高度利用システム（田野・清武地域）

耕畜連携により、土作りを行いながら約100年前から大根を干し野菜として販売して、地域の収益の安定につなげ、大根を干すやぐらの景観も観光資源などに生かした地域全体の取組が評価された。乾燥した冬の西風を利用して大根を干す「大根やぐら」が特徴的な冬季景観を形成。



大根やぐら（田野町）

「ひなたスマートアグリビジョン」に基づく宮崎県が目指すスマート農業を展開！

○「宮崎県スマート農業推進方針～ひなたスマートアグリビジョン～」

宮崎県が目指すスマート農業の将来像と推進方針を示すとともに、宮崎県農業の特性を踏まえたスマート農業の営農体系モデルや、技術・機械の特性、コスト、開発状況等を整理し、スマート農業の円滑な導入促進を図るため令和元年12月に策定。

- ①誰もが取り組める農業を目指した「農業のユニバーサル化」を実現
- ②超省力・高効率で高収益な農業を実現
- ③中山間地域など条件不利地域での持続可能な農業を実現

○「スマート農業実証プロジェクト」を県内5地区で実施

- ①(株)ジェイエイフーズみやざき(西都市)、②(有)新福青果(都城市)、③下野西機械利用組合(高千穂町)、④(有)太陽ファーム(都城市)、⑤新富町農業研究会(こゆ財団)



ロボットトラクターによる耕耘（都城市）